



# Pharmacy News

発信元／緩和ケアセンター

連絡先／青森県立中央病院 緩和ケアセンター ☎017-726-8111 (内) 8568

発行日 2024年3月

## 便秘治療薬について（当院採用2剤紹介）

2023年7月に「便通異常症診療ガイドライン2023」が発刊されたのはご存じでしょうか？  
2012年11月、32年ぶりの便秘治療の新薬としてアミティーザ®が登場し、それを筆頭に様々なタイプの便秘治療薬が発売され、治療の現状は大きく変わりつつあります。今回は、2018年に発売されたモビコール®とグーフイス®についてご紹介したいと思います。

### 1 モビコール®配合内用剤LD

成分：ポリエチレングリコール

適応：慢性便秘症（器質的疾患による便秘を除く）

用法用量：成人は1日1回LD2包 or HD1包で開始  
1日1～3回 最大1日LD6包 or HD3包

LD2包  
= HD1包

注意点：1包あたり水60mLに溶かして内服

作用機序：有効成分に水分保持効果があり、大腸まで水分を届けることで排便を促進

初回排便までの中央値：48時間

メリット：①高Mg血症のリスクがなく、高齢者でも使用しやすい



②薬物相互作用がない

③耐性や依存性がない



水以外にりんごジュースや味噌汁に溶かして服用することもできます！



### 2 グーフイス®錠5mg

成分：エロビキシバット

適応：慢性便秘症（器質的疾患による便秘を除く）

用法用量：1日1回10mg 食前に投与（最大15mg/日）

作用機序：胆汁酸の再吸収抑制により、大腸の水分分泌と大腸蠕動を促進

注意点：食前（20～30分前）投与

→食事によって胆汁酸は生成されるため、食後では薬効減弱

初回排便までの中央値：5時間



# 代表的な便秘治療薬

軟	動	作用機序	薬剤名
●	●	末梢性オピオイド $\mu$ 受容体拮抗薬 (腸管でのオピオイド作用をブロック)	スインプロイク®
●		浸透圧性下剤 (便の水分量を増やし、軟便化)	酸化マグネシウム モビコール® ラクツロース (ラグノス®ゼリー)
●		上皮機能変容薬 (小腸での水分分泌促進)	アミティーザ® リンゼス®
●	●	胆汁酸トランスポーター阻害薬 (大腸の水分分泌+大腸の蠕動亢進)	グーフイス®
	●	漢方薬 (腸管蠕動亢進作用)	大建中湯
	●	5-HT <sub>4</sub> 受容体刺激薬 (腸管蠕動亢進作用)	モサプリド
	●	大腸刺激性下剤 (大腸を刺激し、大腸の蠕動亢進)	センノシド ピコスルファート® アローゼン® テレミンソフト®坐剤 レシカルボン®坐剤

軟：便を柔らかくしたいとき      動：腸を動かしたいとき

※各薬剤の詳細は添付文書をご確認ください。

知っていますか？

フェンタニル貼付剤を剥がれにくくするには…

**貼付後30秒程度、手のひらでしっかりおさえる！**  
(テープの粘着剤を皮膚にしっかり密着させる)

その他にも…

- ・入浴後に貼る時は、汗がおさまってから。
- ・貼付部位の皮膚は乾燥していませんか？  
(粘着剤がしっかり密着しません！皮膚の剥離にも繋がります。)

30秒



日頃から保湿を心掛けましょう！  
※貼付直前の保湿は避けてください。

